

精神的

九州国際大学
付属高等学校
進路指導部だより
令和2年度
第2号
令和2年5月12日

「塾的精神」は学園の
建学の精神です。

○ はじめに

九国では休校の延長を受けて、5月11日(月)にteamsを用いたオンライン授業が本格的に始まりました。授業開始の今が、努力を始めるベストタイミング。心に溢れる、やる気や高揚感を利用して、一気に実力向上の流れに乗りましょう。

○ 大学で学べる学問領域について

10の領域のうち、あなたはどれに関心がありますか。特に1年生は文理選択の時期です。■は文系中心、■は理系中心、■は文理横断系です。複数領域が絡み合った現代社会では、文理横断系が増えています。該当する人は、志望先が文理どちらの受験型なのか、HPなどで調べてみましょう。

人文科学系 人類が創造してきた文化を対象とし、人間とは何かを掘り下げる学問。人間の本質を理解することを目指す。

歴史学・哲学・文学・語学・地理学・心理学・人間科学など

社会科学系 人間の社会生活と営みに欠かせない様々な面を科学的に研究する学問。種々の社会問題の解決を目指す。

法学・政治学・商学・経済学・経営学・社会学・社会福祉学など

理学系 ナノから宇宙まで、自然界の現象や法則について研究する学問。基礎研究で社会の進歩に貢献することを目指す。

数学・情報科学・生命科学・化学・物理学・天文学・地学など

工学系 理学で解明された理論に、モノづくりの知識と技術を加えていく学問。生活に豊かさや安心の提供を目指す。

建築学・情報学・材料工学・機械工学・電子工学・エネルギー科学など

農学系 動植物や微生物などの生物全般と、環境問題に取り組む実践的な学問。食糧やエネルギー問題の解決を目指す。

生物生産学・獣医学・水産学・農芸化学・遺伝子学・農業機械学など

医療系 からだの仕組みと医療技術、医薬品や疾病予防を研究する学問。専門的な医療技術者と研究者の育成を目指す。

医学・薬学・歯学・検査技術科学・看護学・栄養学・リハビリ学など

家政学系 「衣食住」を中心に、人間生活全般にわたる領域を総合的に研究する学問。幅広く生活技術の向上を目指す。

食糧学・栄養学・被服学・住居学・栄養学・児童学・家庭経営学など

教育学系 地域や学校における指導者の養成や、教育のあり方を研究する学問。指導法開発と指導者の育成を目指す。

学校教育学・社会教育学・体育学・生涯スポーツ学・健康科学など

芸術学系 音楽・絵画・彫刻などを通して感性を磨き、表現技術を学ぶ学問。芸術性の発信による社会貢献を目指す。

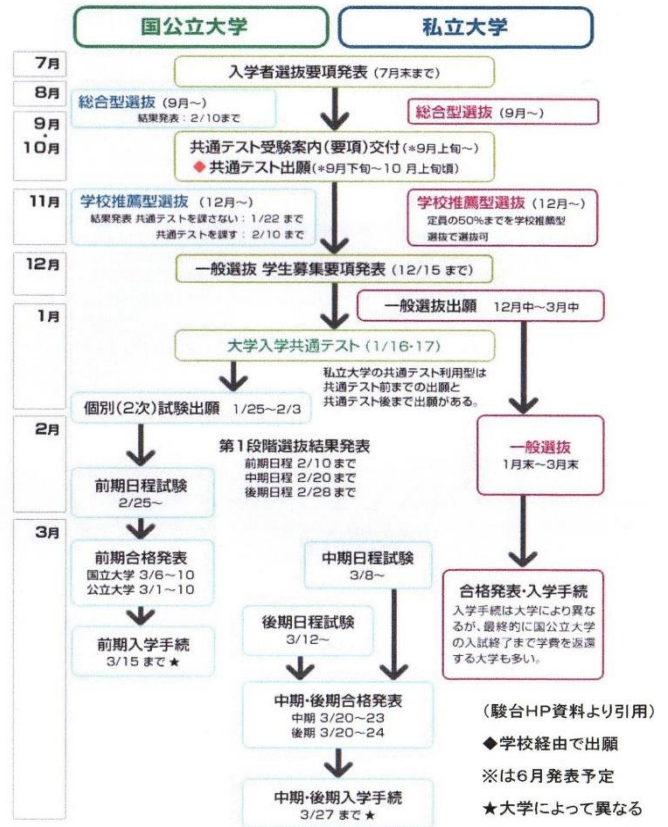
美術学・デザイン学・演奏学・映画学・舞台芸術学・写真学など

総合科学系 人文・社会・自然科学の複合的視点で問題解決を行う学問。多角的アプローチが可能な人材育成を目指す。

教養学・国際関係学・リベラルアーツ学・博物学・共生学など

○ 令和3年度の大学入試日程について

前号では新しい入試制度についてお知らせしました。今回は実際の流れを時系列で示します。6月頃までに各大学が来春入試の要項を公表します。特に3年生は志望校のHPを定期的に確認しましょう。今のところ、入試日程は下記の通りです。



○ どうして勉強するの？

一生懸命に勉強していると「どうして勉強しないといけないの?」「大人になって役に立つの?」のような疑問を感じたことはないでしょうか。この疑問に多くの方が答えています。その中から「走れメロス」や「斜陽」で有名な太宰治の一節を紹介します。私たちの疑問に、スッキリと答えていますね。「勉強というものは、いいものだ。代数や幾何の勉強が、学校を卒業してしまえば、もう何の役にも立たないものだと思う人もいるようだが、大間違いだ。植物でも、動物でも、物理でも化学でも、時間のゆるす限り勉強して置かなければならぬ。日常の生活に直接役に立たないような勉強こそ、将来、君たちの人格を完成させるのだ。何も自分の知識を誇る必要はない。勉強して、それから、けろりと忘れてもいいんだ。覚えるということが大事なのではなくて、大事なのは、カルチベートされるということなんだ。カルチアというの、公式や単語をたくさん暗記している事ではなくて、心を広く持つという事なんだ。つまり、愛するという事を知る事だ。学生時代に不勉強だった人は、社会に出てからも、かならずむごいエゴイストだ。学問なんて、覚えると同時に忘れてしまってもいいものなんだ。けれども、全部忘れてしまっても、その勉強の訓練の底に一つかみの砂金が残っているものだ。これだ。これが貴いのだ。勉強しなければいけません。そうして、その学問を、生活に無理に直接に役立てようとあせってはいけません。ゆったりと、真にカルチベートされた人間になれ!」

太宰治「正義と微笑」より

※カルチベート (cultivate) = 磨く、洗礼する、高める

※カルチア (culture) = 教養